

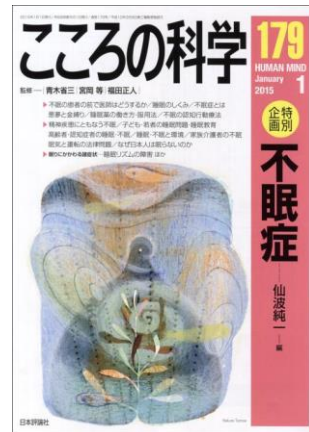


日本評論社

現代人の〈からだ〉と〈こころ〉の不安に真摯にこたえる
2誌のバックナンバーをリリース!

こころの科学

発売中



162号-179号(2012-2014) バックナンバー

心理学・精神医学の分野をリードする隔月刊誌。誌面の多くを占める「特別企画」において「こころ」の問題を深く解説。臨床・実践に基づいた高度な情報・知識をできるだけわかりやすく読者に提供する。

セット価格 同時アクセス1: 74,700円(本体)
同時アクセス3: 112,100円(本体)

各巻詳細

通号	特別企画	発行年	同時 アクセス1 (本体)	同時 アクセス3 (本体)	内容紹介
162号	子どものうつ	2012	¥4,100	¥6,200	うつ状態なのかうつ病なのか、その対応は？ 子どもの生活を安心できる質のよいものにするために、われわれに何ができるだろうか。
163号	特別支援教育はいま	2012	¥3,800	¥5,700	LD、ADHD、アスペルガー等、発達のアンバランスを抱えた子どもたちがより豊かな人生を送れるよう、今一度原点を振り返ろう
164号	誤診	2012	¥4,100	¥6,200	精神科ユーザーの視点に立ち、精神科診断をめぐる難点を明らかにする。治療・支援に活かすために、真摯に診断の本質を問う。
165号	トラウマ	2012	¥3,800	¥5,700	PTSDとともに人口に膾炙して久しいトラウマ。そのとらえ方、トラウマに苦しむ人々の治療はどうあるべきか、第一線の執筆陣が解説!
166号	赤ちゃんの精神保健	2012	¥4,400	¥6,600	出産・子育てをめぐる複雑な状況が広がる中、子どもたちや親の小さな声に耳を傾け、その支援現場の豊かな実践を紹介する。
167号	身体表現性障害	2012	¥4,100	¥6,200	本人の著しい苦痛にもかかわらず、原因不明とされ診療科のはざままで迷走しがちな疾患群について、その概念・診断・対応を詳解する。
168号	精神疾患は軽症化しているのか	2013	¥4,800	¥7,100	既存の教科書では対応しきれないほどに「心の病」が多様化している今、現場の臨床家に何が求められているのか、考えてみたい。
169号	職場のうつ	2013	¥4,100	¥6,200	うつの診断の多様性ゆえ、職場での対応に苦慮することが増えている。働く人のうつに、企業・社会はどう向き合ふべきなのか。
170号	いじめ再考	2013	¥4,100	¥6,200	消費されるようないじめ自殺・事件の報道。社会全体から求められる「いじめ問題」への具体的なかつ現実的な対応を、ともに考えよう。
171号	成人期の発達障害	2013	¥4,400	¥6,600	成人の精神科臨床の現場は、背景に広汎性発達障害をもつ人々の増加によって混乱している。真に当事者に資する理解・支援とは何か。
172号	暴力の心理	2013	¥4,400	¥6,600	「体罰容認論」は日本社会に依然として根強く存在し、ヘイトスピーチ、いじめ・虐待・DVの問題も深刻だ。幅広い視点から暴力への向き合い方を考えてみよう。
173号	精神科クリニック	2013	¥4,100	¥6,200	精神科受診の敷居を下げ、身近な存在になった精神科クリニックだが、その密室性は高い。どんな治療や地域連携が行われているのか。
174号	自閉症スペクトラム	2014	¥4,400	¥6,600	自閉症とアスペルガー障害の名称がDSM-5ではなくなった。臨床での継続的な支援のために何が必要か、多様な角度から考えてみたい。
175号	思春期の“悩み以上、病気未満”	2014	¥4,100	¥6,100	今の子どもの苦悩は、大人がかつて思春期に抱いた悩みと同じなのか。真摯に受け止める、専門家につなぐなど、大人にできることは。
176号	家族療法とブリーフセラピー	2014	¥4,100	¥6,100	心理、教育、医療、福祉等、様々な現場で活用される家族療法・ブリーフセラピー。基礎から最近の動向、実践上の工夫までを紹介する。
177号	うつの心理療法	2014	¥4,100	¥6,100	有効性が実証され、薬物療法と並ぶ「うつ」治療の柱である心理療法に焦点を当て、適切かつ具体的な情報を提供する。
178号	治療のゆきづまり	2014	¥4,100	¥6,100	精神科の病気の治療において避けられない「ゆきづまり」をむしろ好機ととらえ、打開につなげるヒントが満載の特別企画。
179号	不眠症	2014	¥4,100	¥6,100	5人に1人がもつ不眠の悩み。睡眠薬の使用のみに終始せず、労働環境や他の病気などの背景を見極めた対応が改善につながる。

からだの科学

発売中

271-278号(2011-2013) バックナンバー

難解になりがちな医学知識をわかりやすく、正確に読者に提供する医学教養誌。医学の細分化にともない、見失いがちな全体像をEBMの観点に立ち解説(2013年6月 278号をもって休刊中)

セット価格 同時アクセス1: 47,500円(本体)

同時アクセス3: 71,200円(本体)



通号	特別企画	発行年	同時 アクセス1 (本体)	同時 アクセス3 (本体)	内容紹介
271号	機能からみた運動器疾患のすべて	2011	¥5,700	¥8,500	少子高齢化の進む昨今、骨と関節からなる「運動器」の疾患対策が急がれている。運動器の機能に即した、新たな視点からの治療法・予防法を紹介する。
272号	子どもの発育・発達と病気	2011	¥6,600	¥9,900	子どもは抗体形成が未熟なため、感染症にかかりやすい。親の生活習慣や生活環境にも大きく影響される。日々成長・発達する子どもの心とからだの正しい姿を知り、問題点・改善策について考えよう。
273号	関節リウマチの最新治療	2012	¥5,100	¥7,600	関節リウマチはここ数十年で効果的な薬が次つぎと開発され、「治せる」病気になってきた。日々進展する治療法について最新情報をくわしく解説する。
274号	婦人科がんの最新医学	2012	¥5,700	¥8,500	ウイルス感染やホルモンバランスの崩れなど、発症メカニズムが少しずつわかってきた婦人科がん。それぞれのがんについて最適な治療戦略を探る。
275号	ホルモン(内分泌)の病気	2012	¥5,700	¥8,500	ホルモン(内分泌)は全身に作用するため、それが原因の病気は種々の症状で現れるのが特徴だ。意外に知られていないホルモンの病気にスポットを当てる。
276号	身近な感染症とその治療・対策	2012	¥6,600	¥9,900	感染症は医療機関でなく“市中”でいかに発見し、対処するかが肝要である。家庭内、学校、職場など、自分でできる拡大防止・予防対策を伝授しよう。
277号	乳がんのすべて	2013	¥5,700	¥8,500	乳がんの手術は近年、ますます縮小化の方向にある。再発防止のための薬剤選択もより正確になってきた。個別化医療への道を拓く乳がん治療の最前線に迫る。
278号	アルツハイマー病の最新知識	2013	¥6,600	¥9,900	認知症の原因の約6割を占めるアルツハイマー病(AD)。画像検査や脳脊髄液検査でより早期の検出が可能となり、根本治療薬の開発や生活習慣など予防因子研究も活発だ。新たな展開を迎えたADの今を知り、将来を展望しよう。

「発達」創刊号～148号(ミネルヴァ書房)

全巻セット価格

同時アクセス1: 814,000円(本体)

同時アクセス3: 1,302,400円(本体)



各巻価格 同時アクセス1: 5,500円(本体) 同時アクセス3: 8,800円(本体)

※ 表示価格は税抜きです。

2017年 2 月